Kashimura

BL-26

保管用
保証書付

Bluetooth 4.0 イヤホンマイク ノイズキャンセラー 充電クレードル付

取扱説明書

もくじ

安全上のご注意 —— 1
警告 —— 2
注意 —— 3
各部の名称と働き —— 4
使用上のご注意 —— 5
使用方法(初めて使用する場合)-6-7
主なBluetooth搭載機種のペアリング方法 -8-10
使用方法 —— 11-13
故障かな？と思ったら —— 14
保証書 —— 15

＊お買い上げありがとうございました。
＊ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
＊お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上のご注意　必ずお守りください。

＊ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
＊ここに示した注意事項は製品を安全に正しくお使いいただき、使用者や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
＊また注意事項は次のように区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

表示の説明

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が障害を負う可能性が想定される内容や物質的損害の発生が想定される内容」を示しています。

記号の説明

❗	この記号は必ず実行していただく内容を示しています。
🚫	この記号はおこなってはいけない内容を示しています。

⚠危険

🚫	＊耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと聴力に悪影響を与えることがあります。耳を守るため音量を上げすぎないようにご注意ください。
❗	＊走行中での携帯・自動車電話機の使用は法律で禁止されていますので万が一電話をかける場合は安全な場所に停車してから携帯電話機の操作をおこなってください。
🚫	＊走行中はハンズフリー通話以外には使用しないでください。
🚫	＊航空機の運行に支障をきたすおそれがありますので、本製品は機内で使用しないでください。

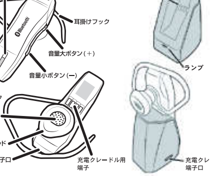
⚠警告

❗	＊本製品を正常にご使用中、異臭・発煙・変形などの異常が起きた場合には、ただちに本製品の使用を中止してください。 （感電・火災・事故の原因となります。）
🚫	＊熱器具の近くや直射日光の当たる所で本製品を充電したり、放置しないでください。 （火災・事故の原因となります。）
❗	＊本製品を充電する際は必ず付属されているDC充電器および、USBケーブル、充電クレードルをご使用ください。 (火災·故障の原因となります。)
❗	＊付属DC充電器、USBケーブル、充電クレードルは本製品専用となります。本製品以外の充電には使用しないでください。DC充電器は12V/24V、USBケーブルはUSB端子5V以外で使用しないでください。 (事故·故障の原因となります。)
❗	＊本製品を充電しながら耳に付けて使用しないでください。使用する際は必ずUSBケーブルから本製品を外してください。 （事故やけがの原因となります。）
❗	＊充電終了後は必ずUSBケーブルから本製品を外し、USBケーブルをUSB端子から抜いてください。 （火災・事故の原因となります。）
🚫	＊USBケーブルのコードや端子が痛んだり、USB端子の差し込みがゆるいときは使用しないでください。 （感電・ショート・発火の原因となります。）
🚫	＊USBケーブルのコードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものをのせたり、はさみ込んだり、加工したり、本体に巻きつけたりしないでください。 （感電・ショート・発火の原因となります。）
🚫	＊子供だけで使わせたり、幼児の手の届く所では使用しないでください。 （事故やけがをするおそれがあります。）
🚫	＊水につけたり、ぬらしたりしないでください。また湿気の多い所やぬれた手で使用しないでください。 （感電・ショート・発火の原因となります。）
🚫	＊絶対に分解·修理·改造をしないでください。 （発火や異常動作によるけがの原因となります。）

⚠注意

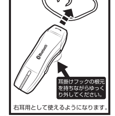
❗	＊窓を閉めきった自動車の中やダッシュボードの上などの直射日光があたる場所やエアコンの吹出口などの異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。 （事故・故障の原因となります。）
❗	＊USB端子からUSBケーブルを抜く時は、必ずUSB端子部を持って抜いてください。 （感電やショートして発火することがあります。）
❗	＊落としたり、ぶつけたりして破損した場合は使用しないでください。 （感電・発火の原因となります。）
❗	＊充電完了後に長時間USBケーブルをUSB端子に接続したままにしないでください。また充電終了後は必ずUSB端子からUSBケーブルを抜いてください。 （事故・故障の原因となります。）
🚫	＊自動車内で使用した場合、車種により車載電子機器に影響を与える場合があります。安全運転を損なうおそれがありますので、そのような場合は使用しないでください。 （事故・故障の原因となります。）
🚫	＊調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があたる場所には置かないでください。（事故・故障の原因となります。）
🚫	＊イヤホンパッドをしっかり取り付けてください。イヤホンパッドなしで装着したり、イヤホンパッドがはずれて耳に残ると病気の原因となることがあります。
❗	＊装着中に気分が悪くなるなど異常を感じたときは直ちに使用を中止し医師または弊社の相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。
🚫	＊イヤホンマイクは音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多い所では音量を上げてしまいがちですが、イヤホンマイク使用中はいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。
🚫	＊子供の手の届く所には保管しないでください。 （事故・ケガの原因となります。）
🚫	＊湿気の多い所には保管しないでください。 （絶縁劣化により感電することがあります。）

各部の名称と働き



右耳で使用する場合

＊左耳用になっている耳掛けフックを取り外し、右耳用に付け替えてください。
＊取り替える際は耳掛けフックが折れないように丁寧に扱ってください。



耳掛けフックの根元を持ちながらゆっくり外してください。

右耳用として使えるようになります。

製品仕様　※動作時間は携帯電話機や使用環境によって異なります。

無線方式	Bluetooth Ver.4.0
対応プロファイル	ヘッドセット(HSP)/ハンズフリー(HFP)/アドバンスオーディオディストリビューション(A2DP)
無線距離	約10m以内※
電源供給	リチウムポリマー電池
充電時間	約2時間 ※
連続使用時間	最大約4時間(待ち受け時間：160時間)※ (スリープ機能使用時の待ち受け時間：2500時間)※
外観寸法と重量	ヘッドセット本体：18W×55H×25D(mm) 7g 充電クレードル：26W×40H×33D(mm) 15g (耳掛けフック、USBケーブル除く)
動作·保管環境	温度0～45℃（結露しないこと）
付属品	DC充電器/USBケーブル/耳掛けフック/充電クレードル (DC12V/24V対応)（コード長:約150cm） ステー/両面テープ×2枚

使用上のご注意

良好な通信のために

＊接続機器とは見通し距離で約10m以内で通信してください。建物の構造や障害物によっては通信距離が短くなる場合があります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと通信できないことがあります。
＊電気製品（AV機器・OA機器・電子レンジなど）から3m以上離して通信してください。テレビやラジオなどの場合は、受信障害になる場合があります。
＊無線機や放送局の近くなどで正常に通信ができない場合は、通信場所を変更してください。
＊接続機器からの接続要求に応答するために、低電力ではありますが常に電力を消費しますので使用しないときは電源をOFFにすることをお勧めします。

内蔵電池について

＊ヘッドセット本体に直接USBケーブルで充電する場合、3時間以上の長時間の充電はしないでください。
＊電池は寿命があり消耗品ですので、保証対象外となります。
＊十分に充電した電池で使用時間が著しく短くなってきたり、ご利用いただけない場合は電池の寿命となります。(電池の交換はできません。)
＊リチウムポリマー電池の特性上、高温での保管はおすすめできません。

使用する電波について

2.4 FH 1

使用電波帯：2.4GHz
変調方式：FF-SS
与干渉距離：10m

＊本製品は2.4GHz帯域の電波を使用しています。
本製品を使用する上で無線局の免許は必要ありませんが以下の場合や製品の近くでは使用しないでください。

※病院内・電車内・航空機内・ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
※電子レンジ・ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
※自動ドア・火災報知器など
※工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
※特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
※IEEE802.11b/g無線LAN機器

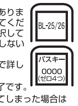
上記の機器などはBluetoothと同じ電波の周波数帯を使用しています。上記の近くで本製品を使用すると電波の干渉を発生するおそれがあります。この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運営されています。

使用方法（初めて使用する場合）

【ペアリング（初期設定）をします。】

8～10ページに主なBluetooth搭載機種のペアリング方法が書いてありますので下記の内容と合わせてご確認ください。

❶本製品の電源ボタンを1回押して、電源をONにしてください。
❷ペアリング（初期設定）可能な状態にするために電源ボタンを約3秒間押し続け、本体のランプを**赤・青交互の点滅**の状態にしてください。
本製品の電源ランプが赤·青交互の点滅の状態になりましたら、すぐに手を離してください。長く押し続けると電源がOFFになります。
❸使用する携帯電話機のBluetooth機能設定にてペアリング可能な機器を検索してください。検索方法は携帯電話機により異なりますので、詳しくは携帯電話機の取扱説明書をご参照ください。
❹検索画面に「BL-25/26」と表示されますので表示された番号を選択してください。
❺選択した後は携帯電話機の指示に従い操作をしてください。
認証のために携帯電話機によりパスキーの入力が必要な場合があります。パスキーを要求された場合はゼロ４つ「0000」を入力してください。接続する種類を要求された場合は「ハンズフリー」を選択してください。「ヘッドセット」を選択した場合は機能が正常に動作しない場合があります。
＊パスキーという表記名は携帯電話機の機種により異なりますので詳しくは携帯電話機の取扱説明書を参照してください。



❻本製品の電源ランプが**青色点滅**になったらペアリング設定は終了です。
＊ペアリング設定中に間違えてしまったり、ペアリングを失敗してしまった場合はもう一度始めからやり直してください。

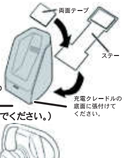
【2台目のペアリング方法について】

❶1台目の携帯電話との接続が終了したら携帯電話のBluetooth機能設定をOFFにします。
❷2台目の携帯電話と本製品をペアリング（初期設定）し接続します。
❸2台目の携帯電話と本製品はそのままで1台目の携帯電話のBluetooth機能設定をONにします。
❹1台目の携帯電話のBluetooth項目から「BL-25/26」と表示された番号を選択して接続すると、2台の携帯電話と接続することができます。

【電池切れについて】

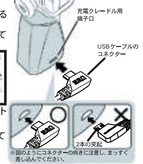
＊電池が無くなると赤ランプが点滅しイヤホンから電子音が鳴ります。
電池切れになった場合は付属品のDC充電器、USBケーブル、充電クレードルを使用してください。

【充電クレードルを取り付ける。】



❶取り付ける場所の汚れやワックスを中性洗剤等で拭取り脱脂してください。
※車種によっては脱脂してもワックスが取れず、取付けできない場合があります。
❷付属のステーを好みの角度になるように折り曲げてください。両面テープを貼り、取付け箇所に本製品を圧着します。
※両面テープの粘着が安定するまで(約24時間)ご使用はおやめください。

【車で充電する】(充電中は絶対に耳に付けて使用しないでください。)



※図のようにコネクターの向きに注意し、まっすぐ差し込んでください。

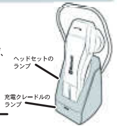
❶充電クレードルとUSBケーブルを接続して下さい。
❷USBケーブルのコネクターをDC充電器に接続してください。
※コネクターの向きに注意し、図のようにまっすぐ差し込んでください。
❸充電クレードルにヘッドセット本体をカッチッと音が鳴るまで設置してください。
※充電クレードルにヘッドセット本体がきちんと装着されていないと、スリープ機能が動作しない場合があります。

※ヘッドセット本体に直接、USBケーブルに接続して充電することができます。
USBケーブルで直接充電している場合は、スリープ機能は使えません。

❹充電クレードルの通電ランプが緑色に点灯し、ヘッドセット本体の通電ランプが点灯します。

※ヘッドセットの充電時/充電完了時のランプ表示色について

	ヘッドセットのランプ表示色	
	充電中	充電完了時
充電クレードルで充電した場合	赤点灯	消　灯
USBケーブルで充電した場合	赤点灯	青点灯



※充電クレードルからヘッドセット本体を外して約4秒以内に充電クレードルに戻した場合、上図のように正常に点灯せず、スリープ機能が動作しない場合があります。
その場合は、ヘッドセット本体を充電クレードルから外して約3秒以上経過してから、戻してください。
※ヘッドセットが装着していない場合でも、充電クレードルの通電ランプは点灯します。

主なBluetooth搭載機種のペアリング方法

※ペアリングする時は、本製品のランプを**赤・青交互の点滅**にした状態でおこなってください。
※OSのバージョンによっては、ペアリング手順が異なる場合があります。

docomo

機種	アップル iPhone 6s/6sPlus	ソニー Xperia Z5 Premium SO-03H	ソニー Xperia Z5 Compact SO-02H
ペアリング設定方法	メニュー ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ 「BL-25/26」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ 検索 ↓ 「BL-25/26」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ 検索 ↓ 「BL-25/26」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了
機種	サムスン Galaxy Active neo SC-01H	サムスン Galaxy S6 SC-05G	富士通 arrows NX F-02H
ペアリング設定方法	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ 接続 ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ スキャン ↓ 「BL-25/26」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ 接続 ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ 更新 ↓ 「BL-25/26」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ 検索 ↓ 「BL-25/26」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了

携帯電話機の機種別ペアリング方法

バーコードを携帯電話機のバーコードリーダーで読み取り、各機種のペアリング方法をご確認いただけます。バーコードリーダー機能がついていない携帯電話機の接続方法については、携帯電話機の説明書をご確認ください。パソコンからご確認頂く場合は下のURLからご確認頂けます。
http://www.kashimura.com/goods/keitai/bluetooth/bl.html

下記に載っていない携帯電話機の場合は携帯電話機の取扱説明書又は弊社ホームページ（http://www.kashimura.com/）をご覧ください。

※ペアリングする時は、本製品のランプを**赤・青交互の点滅**にした状態でおこなってください。
※OSのバージョンによっては、ペアリング手順が異なる場合があります。

au

機種	アップル iPhone 6s/6sPlus	京セラ DIGNO rafre KYV36	シャープ AQUOS SERIE SHV32
ペアリング設定方法	メニュー ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ 「BL-25/26」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ 更新 ↓ 「BL-25/26」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	ホーム画面 ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ 更新 ↓ 「BL-25/26」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了
機種	LG電子 isai vivid LGV32	HTC J butterfly HTV31	サムスン Galaxy A8 SCV32
ペアリング設定方法	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ 検索 ↓ 「BL-25/26」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	ホーム画面 ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ デバイス検索 ↓ 「BL-25/26」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ スキャン ↓ 「BL-25/26」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了

下記に載っていない携帯電話機の場合は携帯電話機の取扱説明書又は弊社ホームページ（http://www.kashimura.com/）をご覧ください。

※ペアリングする時は、本製品のランプを**赤・青交互の点滅**にした状態でおこなってください。
※OSのバージョンによっては、ペアリング手順が異なる場合があります。

SoftBank

機種	アップル iPhone 6s/6sPlus	シャープ AQUOS Xx2 mini 503SH	シャープ AQUOS Xx2 502SH
ペアリング設定方法	メニュー ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ 「BL-25/26」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	基本機能 ↓ 設定 ↓ Wi-Fi·Bluetooth ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ 更新 ↓ 「BL-25/26」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	ホーム画面 ↓ 設定 ↓ Wi-Fi·Bluetooth ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ 更新 ↓ 「BL-25/26」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了
機種	京セラ DIGNO U 404KC	富士通 ARROWS A 301F	パナソニック LUMIX Phone 101P
ペアリング設定方法	ホーム画面 ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ 更新マークをタップ ↓ 「BL-25/26」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ デバイスの検索 ↓ 「BL-25/26」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ デバイスのスキャン ↓ 「BL-25/26」と表示された番号を選択 ↓ 接続完了

使用方法　※携帯電話機の操作方法などは各キャリア様にお尋ねください。

【電源をONにする】

電源ボタンを1回押します。(イヤホンからは電子音が鳴ります。)
ペアリングされた情報は各機器とも残りますので、本製品をONにすれば数秒後に携帯電話機が認識しそのまま使える状態になります。

＊携帯電話機が認識しない場合は携帯電話機で接続操作をしてください。
＊本製品と携帯電話機の接続状況については携帯電話機で確認してください。接続状況の確認方法については携帯電話機の取扱説明書を参照してください。

【電源をOFFにする】

電源ボタンを**赤色**ランプがつくまで約5秒押し続け、ランプついたら離してください。(イヤホンからは電子音がなります。)
＊途中**赤・青交互の点滅**(ペアリング可能状態)になりますが、電源ボタンから手を離さずに押し続けてください。
＊**赤・青交互の点滅**（ペアリング可能状態)中に電源OFFにする場合は、その状態から**赤色**ランプがつくまで約5秒間押し続けてください。
＊電源がOFFの状態の時は電源ランプは消えたままです。

【電話をかける】

本製品からの発信はできませんので、携帯電話機から発信してください。
相手が電話に出たら電源ボタンを電子音が鳴るまで長押ししてください。
＊携帯電話機の機種により携帯電話機から発信後に自動でイヤホンに切替わる機種があります。
＊電源ボタンを長押ししても切替わらない機種の場合は携帯電話機で切替えてください。

電子音が鳴るまで長押し

【電話をうける】

イヤホンから着信音がしたら電源ボタンを1回押します。
(イヤホンからは電子音が鳴ります。)

【電話をきる】

電源ボタンを1回押すと通話が終了します。
(イヤホンからは電子音が鳴ります。)

【着信を拒否する】

イヤホンから着信音がしたら電源ボタンを電子音が鳴るまで長押ししてください。

電子音が鳴るまで長押し

使用方法　※携帯電話機の操作方法などは各キャリア様にお尋ねください。

【リダイヤルする】

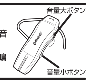
リダイヤルする場合は電源ボタンを2回連続で押してください。

＊2台の携帯電話機を使用している場合は、接続時に本製品を先に認識した携帯電話機1台のみの対応となります。
＊携帯電話機により連続してリダイヤルができない場合があります。リダイヤル機能が働かなくなった場合は時間をおいてから再度リダイヤルをしてください。

【音量を調節する】

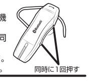
音量を大きくする場合は音量大ボタンを、音量を小さくする場合は音量小ボタンをそれぞれ1回ずつ押して調整してください。

＊音量がそれぞれ最大・最小になった時にはイヤホンから電子音が鳴ります。



【ミュート機能】

通話中に音量大ボタンと音量小ボタンを同時に1回押すとミュート機能がONになり通話相手に自分の声が伝わらなくなります。
ミュート機能をOFFにする場合は、音量大ボタンと音量小ボタンを同時に1回押してください。
＊ミュート機能が動作中はイヤホンより電子音が8秒間隔で鳴ります。
＊携帯電話機の機種によりミュート機能が使えない場合があります。

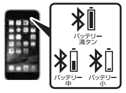


【携帯電話の2台使用について】

通話中にもう1台の携帯電話機に電話がかかってきた場合にはイヤホンから電子音が鳴り電話がかかってきたことがわかります。
この時に電源ボタンを1回押すとかかってきた電話に出ることができます。この時、元々の通話は保留になり、相手にはこちらの声が聞こえない無音状態になります。
＊携帯電話機の機種によりイヤホンから電子音が鳴らない場合があります。

【iPhoneで本製品のバッテリー残量を表示する】

本製品とiPhoneをペアリングするとiPhoneの液晶画面に本製品のバッテリー残量が表示されます。
あくまでも目安のため、電池残量が少なくなってきたら早めに充電してください。
※スリープ機能作動時は、バッテリー残量は表示しません。
※各モデルやOSのバージョンによって、アイコンが異なったり、表示されない場合もあります。ご了承ください。



バッテリー満タン
バッテリー中
バッテリー小

【ワンセグ/音楽を聴く】

A2DPプロファイル対応の携帯電話機であれば、本製品で音楽/ワンセグ音声を聴くことができます。
携帯電話機のBluetooth設定をオーディオに設定して下さい。

【スリープ機能】

※充電クレードルにヘッドセット本体を装着することにより、スリープ機能(節電モード)になります。充電クレードルからヘッドセットを取り外すと、自動でスリープ機能が解除されます。
※充電クレードルが通電されていない場合でも、ヘッドセットを充電クレードルに戻すと自動でスリープ機能になります。
※充電クレードルからヘッドセット本体を外して約4秒以内に充電クレードルに戻した場合、スリープ機能が動作しない場合があります。その場合は、ヘッドセット本体を充電クレードルから外して約3秒以上経過してから、戻してください。

【スリープ機能の解除】

※充電クレードルにヘッドセット本体を装着したまま、ヘッドセット本体の電源ボタンを1回押すと、スリープ機能とオート着信機能がOFFになります。
ヘッドセット本体を取り外し、充電クレードルに戻すと、スリープ機能とオート着信機能がONになります。

【オート着信機能】

※充電クレードルにヘッドセット本体を装着中に着信があった場合、ヘッドセット本体を充電クレードルから外すと、スリープ機能が解除し、自動で通話モードになります。
※一部の携帯電話機では、スリープ機能からの着信の場合、ヘッドセット本体のボタンで手動で電話を受けることができません。
※一部の携帯電話機では、スリープ機能動作時に着信した場合、オート着信までの時間が十数秒かかる場合があります。

【充電しながら待ち受けをする場合について】

本製品の電源がONの状態で充電をした場合、本製品の電源はOFFになります。充電しながら待ち受けをする場合は、充電中に電源ボタン1回押して青色ランプがつくのを確認してください。
＊通常1回押しで青色ランプがつきますが、つかない場合は青色ランプがつくまで約2～3秒押し続けランプがついたら離し、電源をONの状態にしてください。

故障かな？と思ったら

症　状	考えられる原因	処　置
電源がONにならない。	電源ONの動作をおこなってもランプが点灯しない場合は、バッテリーの残量が不足している。	付属のDC充電器とUSBケーブルを使用し充電してください。
	青いランプが点滅している。	青いランプが点滅している状態は電源がONの状態です。
ペアリングができない。	ペアリングモードになっていない。	電源ONの状態から電源ボタンを約3秒押してペアリングモードにしてください。
	長時間、赤と青のランプが交互に点滅している。	正常にペアリングをおこなう状態になっていない可能性がありますので、一度設定を中止し電源をOFFにしてから改めてペアリングをしてください。
通話音量が小さい。	音量レベルが最小になっている。	ボリュームを上げてください。
通話ができない。	ペアリングが完了されていない。	ペアリングをしてください。
	携帯電話機の設定がイヤホン設定になっていない。	携帯電話機の設定を変更してください。
	着信時の操作が早い。	イヤホンから着信音がしてから電源ボタンを押してください。
	携帯電話機で発信してからイヤホンの切替えをしていない。	携帯電話機で発信後、イヤホンの切替えをしてください。
	携帯電話機から10m以上離れ、ペアリングが解除になっている。	携帯電話機から10m以内の範囲に入り携帯電話機で本製品との接続操作をしてください。
携帯電話機から着信音が鳴らない。	接続時に着信が出ない設定になる携帯電話機があります。	携帯電話機の取扱説明書を参考に設定を変更してください。
途中で通話が切れる。	鉄筋の入った壁、電子レンジなどの電気製品、放送局や無線局などが近くにある。	場所を移動して使用してください。
ノイズ音や音切れがする。	無線LAN、街中の電波干渉、携帯電話機を入れるポケットとは反対側の耳にヘッドセットを装着している時に発生する場合があります。	無線LANやWi-Fi接続のパソコンから離れていただくか、お体から携帯電話機を離してください。
携帯電話との接続が不安定になっている。	携帯電話機のWi-Fiの設定をONにしている時に発生する場合があります。	携帯電話機のWi-Fiの設定をOFFにしてください。
待ち受け中に電子音が鳴る。	バッテリーの残量が不足している。	付属のDC充電器とUSBケーブルを使用し充電してください。
スリープ機能にならない。	充電クレードルにきちんと置かれていない又は、充電クレードルを使用していない。	充電クレードルからヘッドセットを外して、約4秒以上経過したら、充電クレードルに置いてください。